

終章

新見公立短期大学は、人口の少ない岡山県新見市に立地し、定員 440 人（併設大学も含む）の小さな大学である。本学は 1980 年の創立当初から学生募集に不利な状況にあった。そのため、教職員、行政関係者、地域住民は、本学を魅力的な大学にしなければ生き残れないという危機感を持っていた。この危機感により本学は、創設当初から生き残りのため懸命の努力が行われてきており、それが学風にもなっている。

近年は、少子化、大学数の増加、受験生全入化、定員割れ、学力低下、予算削減など多くの環境の変化が起きているが、魅力的な大学にするための努力は続いている。その努力の中のいくつかの具体的なものは、1997 年自己点検・評価報告書、2000 年自己点検・評価報告書、2003 年外部評価、2004 年地域看護学専攻科新設、2005 年大学評価・学位授与機構からの認証評価（公立短期大学第 1 号）、2008 年公立大学法人化などがある。これらの事業の進行過程で、教職員の意識改革がもたらされ、また、各自の能力のレベルアップが行われた。

今回の 2011 年自己点検・評価報告書の作成により、所属学科以外の組織の業務内容や、本学法人化時に大きく変化した組織の形や業務内容などを全般的に把握することができた。また、2008 年度の法人化時に立てた第 1 期中期計画を総合的に評価することもできた。今後は、この評価内容を元に社会的ニーズや学生の動向をふまえて、2014 年度から始まる第 2 期中期計画の作成に反映させる予定である。

本学は認証評価や計 7 件の GP 取得などで高く評価されてきた。この過程で、大学の業務を見つめなおし、改善計画をたてて実行し、検証をするという意識が教職員の中に作られた。しかし、本学の理念と目的の実現のためのより一層の意識改革が進まなければ、大学冬の時代を生き抜くことはできない。今後は、教育効果の検証や教育の質保証などの大学の質を保証し向上させるための恒常的大学運営システムを充実させていくことが必要である。新見公立短期大学が地域で光る大学であり続けるため、小規模大学の利点を追求した教育を行い、その魅力を広く発信する努力が重要であろう。本報告書がよりよい指針となることを期待したい。

2011 年度 公立大学法人 新見公立大学評価委員会

- 委員長 難波 正義 (学長・理事長・新見公立大学学長)
委員 宇野 文夫 (理事兼学生部長・新見公立大学)
杉本 幸枝 (広報部長・新見公立大学)
古城 幸子 (新見公立大学看護学部長)
安達 雅彦 (幼児教育学科長)
井関 智美 (地域福祉学科長)
福岡 悦子 (地域看護学専攻科長)
奥舎 達典 (理事兼事務局長)
逸見 英枝 (図書館長・看護学科)
斎藤 健司 (学生部次長兼新見公立短期大学学生部長・幼児教育学科)

2011 年度 新見公立短期大学認証評価実行委員会

- 委員長 斎藤 健司 (学生部次長兼新見公立短期大学学生部長・幼児教育学科)
副委員長 金山 時恵 (地域看護学専攻科)
委員 芝崎 美和 (幼児教育学科)
渡部 昌史 (幼児教育学科)
大竹 晴佳 (地域福祉学科)
三上 ゆみ (地域福祉学科)
池田 明子 (地域福祉学科)
神原 光 (事務局)
小川 政保 (図書館)
新藤 慶 (2011年1月まで幼児教育学科 2011年2月より群馬大学)
顧問 宇野 文夫 (理事兼学生部長・新見公立大学)
原田 信之 (新見公立大学)

新見公立短期大学自己点検・評価報告書 2011

2012年3月31日発行

編集：2011年度新見公立短期大学認証評価実行委員会

発行：2011年度公立大学法人新見公立大学評価委員会

委員長 難波正義

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

Tel 0867-72-0634

印刷：公立大学法人新見公立大学